

第3次山梨市生涯学習推進計画

概要版

生涯学習推進計画とは

本計画は、市全体の生涯学習に関する取組を体系化し、その目標や課題、施策の方針を示した計画です。また、生涯学習を推進する体制を整えるとともに、市民の学びの意欲に応え、学習の成果を活かせるよう自主的な学習支援に取り組むことで、第2次山梨市まちづくり総合計画「第3期中期計画」の目指すビジョンの一つである「市民が手をつなぎ、教育と文化を育む山梨市」の実現を目指すものです。

計画期間

令和8年度から令和12年度までの5年間

基本理念

「市民が手をつなぎ教育と文化を育む山梨市」

基本目標

市民自らの意思による学習のもと、自己実現を図ることを支援し、誰もが学習した成果を活かし、地域に還元できる機会を創出します。そして、学びを通じて同じ目的をもった仲間同士のつながりだけではなく、世代や立場を超えた人と人、人と地域によるつながりを創ることです。

山梨市の現状と課題

学習機会の充実

生涯学習・生涯スポーツを行ったという方がゆるやかに増加している一方、子育てや仕事に忙しい年代の方は時間がないため生涯学習を行えないという回答が一定数あります。誰もが参加しやすくニーズにあった学習機会を提供していきます。

学習成果を生かせる環境づくり

学習成果を活かしたいと考える方が増加傾向にあります。そのため、公民館や市が主催のイベントがあることを周知し、学習者の励みになるような機会をつくっていきます。

学びの連携の強化

学習をはじめための理由や学習環境に人とのつながりが求められているため、仲間づくりが出来る機会や学習する場を創出し学びを通じた人とのつながりを強化していきます。

情報発信の強化

生涯学習・生涯スポーツという言葉への理解度が低いことが認められるため、生涯学習に関する情報を発信し、学習の機会の増加や生涯学習への理解度を高められるよう周知していきます。

4つの柱

まなぶ

多様な学びの提供

つなぐ

学びを介したネットワーク

いかす

学んだことが生かせる場づくり

ささえる

学びのしくみづくり

施策の体系、実践的な取り組み

【基本理念】

【4つの柱】

【基本施策】

市民が手をつなぎ教育と文化を育む山梨市

まなぶ
〔多様な学びの提供〕

多様なニーズやライフスタイルに応じた学習機会の提供

つなぐ
〔学びを介したネットワーク〕

市民や活動団体の支援と連携

自然・歴史文化の保存と継承

いかす
〔学んだことが生かせる場づくり〕

学習成果の発表の場の提供

地域の学習の担い手の創出、後継者の育成

ささえる
〔学びのしくみづくり〕

生涯学習に関する学習情報の提供

学習環境の整備

地域と連携した教育の推進